

東っ子

甲府一
明るい
東小学校

11月号

東小一大イベント 「星を観る会」

東小は甲府市で唯一プラネタリウムがある小学校です。これは、他の学校にも誇れる東小の大きな特色といえます。現に、プレイルームには大きなプラネタリウムのレプリカも展示されており、これも甲府市の中でも本校だけにしかありません。



準備をする研修部の皆さん

そのプラネタリウムをP T A 研修部で、活用し、親子宇宙の神座に親しむ機会を「星を観る会」が十一月十日(木)・十一日(金)の二日間、わたって開催されました。参加希望者が六百人を超え、という実に大きなイベントとなりました。今年から科学館側が出張派遣できなくなったため、天体観測はできなくなりましたが、①プラネタリウム

上映②工作③展示の三つの実施しました。①のプラネタリウムでは、美しい星空や星座の写真を映写し、物語を交え、BGMにものりながら楽しく天体について学びました。②工作③展示では、プレイルームで親子で工作やクイズにチャレンジしていました。冬立過ぎ、この時期は、日が沈むと寒さが増しますが、盛況でも熱気があふれて、寒さを吹き飛ばしていました。東小の一大イベントである「星を観る会」が盛況且



親子で工作

児童会一大イベント 「秋祭り集会」

つ無事に終了することができました。これもひとえに、PTA 研修部・本会の皆さんののおかげです。本当にありがとうございます。ご家族で楽しく有意義な交流をする様子を見て、私もとても心が温かくなってきました。嬉しい二日間となりました。

「星を観る会」が十一月の東小一大イベントであるならば、児童会にとっては活動の一大イベントでもある「秋祭り集会」が十八日(金)に開催されました。この日は、お知らせや地域の回覧でもお伝えしました。校開放とし、日と保



まうに、校内を大きく二つのエリアに分けました。児童会本部で、第一エリアは、体育館・一年教室・図書館。プレイルーム・プラネタリウム

ム室・三、五年教室を第二エリアと設定しました。第一「射的」「ブツクハンター」などの店が出されました。第二エリアでは、「言葉あてゲーム」、「イントロクイズ」、「見つけてカード」など、二つのエリアで合計十二のたてわり班がそれぞれ異なるゲームを工夫して出店しました。



私は、「秋祭り集会」をみていて、「人は人との関わりを通して様々なことを学んでいくのだ」と改めて思いました。昨今は、社会の変化や少子化の傾向から社会性を身につけたり、人格を形成した

りしていくこと、さらにコミュニケーション力を身につけることが重要な教育課題であるといわれています。私の子どもの頃は地域の中で大勢の子どもたちで異年齢集団で群れを成して遊び、その中で人間関係を初めとする多くのことを学び、生きる知恵も身につけてきました。現代は、昔に比べて年齢の交流が減ってきています。それだけに、児童会活動の異年齢のたてわり活動はとても意義があり、重要であると思います。



下級生が話したり指示を出したりする。それを受けて、「これ、どうしたらいいの」と問う下級生の姿。上級生が下級生を手助けする、という当たり前の前のことが、当たり前に行われているのです。そこには、一年下で小さいから、「お兄さんお姉さんなのだから」という「型」はなく、上級生はリーダー性や責任感を、下級生は相手を敬う気持ちや思いやる気持ちが自然と養われているはずなのです。

平成28年11月22日（火）甲府市立東小学校だより